

東海地域における 防災訓練の実施状況



株式会社NTTドコモ

目次

1 <u>社内訓練</u>	
(1) ドコモ東海グループ自主総合防災訓練 (情報伝達訓練)	p 2
2 <u>社外関係機関との連携訓練</u>	
(1)陸上自衛隊 第10師団との共同訓練	p 4
(2)海上保安庁 第四管区との合同訓練	p 6

1-(1) ドコモ東海グループ自主総合防災訓練（情報伝達訓練）

○ 訓練名：ドコモ東海グループ自主総合防災訓練（情報伝達訓練）

○ 概要：目的 激甚災害に対する災害対応力の強化

日時 2017年12月14日（木）

場所 NTTドコモ東海支社 災害対策本部

主催 NTTドコモ（東海支社）

協力 関係ライフライン機関等

（敬称略）

○ 被災想定：「東南海地震に端を発する津波被害」

1-(1) 訓練模様

- 発災から初動対応（発災後48時間）における各班連携による情報共有、指揮命令系統を訓練により確認・実践。

主な訓練項目

- ・ ドコモ内各班との情報共有
- ・ 関係機関との情報共有・収集
- ・ 自治体からの情報共有・収集
- ・ ドコモ設備状況把握
- ・ お客さま対応状況の把握
- ・ 道路・電車等の状況把握
- ・ 避難所開設状況の把握
- ・ 社員安否確認
- ・ 報道対応、HPによるお客様への情報提供



マルチ画面システム
を活用した情報共有
会議



情報共有ツールの
活用による各班対応
状況の“見える化”

2-(1) 陸上自衛隊 第10師団との共同訓練

目的	災害時の相互協力協定に基づく、陸上自衛隊との相互連携に関する手順習熟（道路寸断等を想定した通信機材・避難所支援物品のヘリコプターによる輸送・設営）
日時	2017年6月22日（木）
場所	陸上自衛隊 第10師団 守山駐屯地、四日市市中消防署中央分署
参加機関 （敬称略）	陸上自衛隊 第10師団、四日市市、四日市市中消防署中央分署、NTTドコモ

【訓練内容】

四日市市中消防署中央分署 ⇔ 守山駐屯地との間を往復（ヘリ輸送）で訓練を実施。

- ① 自衛隊ヘリでの避難所支援物品輸送
- ② 自衛隊ヘリでの可搬型基地局輸送
- ③ 可搬型基地局設営
- ④ 避難所支援ブース設営
- ⑤ 自衛隊によるLTE回線構築（自衛隊主管）



2-(1) 訓練模様

【ヘリ積載・荷卸し】

通信機材・避難所支援物品をヘリコプターへ積載・荷卸し



【可搬型移動基地局設営】

ヘリ輸送した可搬型基地局設営によるエリア救済



【避難所支援ブース設営】

ヘリ輸送した避難所支援物品設置による支援ブース開設



2-(2) 海上保安庁 第四管区との合同訓練

目的	災害時の相互協力協定に基づく、海上保安庁との相互連携に関する手順習熟（離島救済を想定した通信機材・避難所支援物品の船舶による輸送）
日時	2018年1月23日（火）
場所	名古屋港ガーデンふ頭棧橋（名古屋港ポートビル西側）
参加機関 （敬称略）	海上保安庁（第四管区）、その他通信事業者、NTTドコモ

【訓練内容】

可搬型基地局設備、避難所支援機器、
保守者生活物品の搬入・搬出



使用船舶：第四管区海上保安庁所有「いせしお」

2-(2) 訓練模様

【KY（危険予知）ミーティング】
訓練実施前安全確認



【機器搬入】
岸壁からの機器搬入



【積み込み機材固定】

輸送機材の固定、航走時に荷崩れしないよう安定性を確認

